

令和8年度第1回芽室町総合計画審議会 議事録

令和8年6月9日（火）18:30～20:15

芽室町役場2階会議室7・8

■出席委員（11名）

蘆田委員、岩野委員、太田委員、小池委員、白金委員、高橋委員、西村委員、貫田委員、花岡委員、林委員、廣江委員

■欠席委員（4名）

小林委員、鈴木委員、若狹委員、谷口委員

■調査事項

①公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

委員

今回提案等すれば成果指標の追加はできるのか。

大石係長

できる。

委員

訪問看護やリハビリに力を入れている

成果指標に入れてはどうか。

アンケートによる主観的なものや、件数などの数値による実績など施策のばらつきがある。

この施策は数値による実績によるもののみである。

満足度などアンケートによる成果指標を追加してはどうか。

石田事務長

専門部会でも同様の意見があり検討を行う。

外来と入院は満足度調査している。

訪問看護は満足度調査をしていないので、今後調査することはできる。

リハビリの件数も検討する。

大石係長

成果指標について、作成前に事前に研修を行い、アンケートに頼りすぎると主観になりすぎるため、実数についても入れると良いと話があった。

その後に作成しているものなので、各担当課はその検討を行い作成していると考えている。

②安心して生み育てることができる子育て支援
なし

③子育て環境の充実
なし

④生涯を通じた健康づくり

委員

成果指標の健康相談実施件数とは何か。

吉川補佐

窓口での保健師への健康相談や、健診の結果説明会の件数である。

⑤障がい者の自立支援と社会参加の促進

委員

相談件数の数値が入っていないが。

清末補佐

現段階では数値の決定はできていないためである。

⑥互いに認め支え合う地域共生社会の実現

委員

成果指標相談件数となっているが、増えることが望ましいものか。

杉山補佐

些細なことでも町に連絡をもらうことが大事であるため増やす目標としている。

委員

町内会が家庭をすべて回っている事業をしている。

それを参考に、地域の見回りを何度回ったかを指標にできないか。

杉山補佐

それも検討したが、民生員も確認を行っているが、回数が減ることだけで、やっていないように見えることが不安なため見送った。

委員

ベトナムの人が近所に住んでいる。不安を持っている方がいる。
どれくらい住んでいて、どのような対策をとっているか。

大石係長

職場を通じて必要な周知は行っている。

委員

災害時どのように対応するのが不安である。

人権の活動について、現状、人権委員の個々人の活動で成り立っている。入れ替わりがあると維持できるかが不安であるため、組織化等で活動の継続はできないか。

⑦高齢者福祉の充実

なし

⑧学校教育の充実

委員

成果指標の「朝食を毎日食べている」と回答した生徒の割合について見直しはしないのか。

佐々木課長

専門部会でも意見をいただいております、現在検討中である

委員

「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合は 80%で良いのか。

佐々木課長

100%は現実的な数値ではないため、80%一定の目標になるのではないかと考えたことから。

委員

現実的ではないということだが、20人切り捨てているように感じる。

100%を目指してもいいのではないか。

委員

成果指標の項目が全国学力・学習状況調査ばかりである。

この目標のみであれば、芽室町の計画ではなく、全国どこでも同じになってしまう。

芽室町独自の取り組みも多くあるので、そういったものを指標にしていきたい。

委員

現状課題について、実際地域や保護者と合致しているのか。

国でも教育の環境を自分たちで選べるように。としているので、芽室町らしさを出してほしい。

佐々木課長

3月時点で作成したものである。

今後他の計画も作成することからそれも反映していく。

⑨社会教育の推進

なし

⑩地域文化の振興

委員

成果指標①文化活動がしやすいと感じる町民の割合について、会場が取りやすいことで評価するものや、多く参加できることを評価する人もいると感じる。

そういったばらつきについてどう考えるか。

江崎課長

個々にそれぞれによる考えでも良い。施設が使えるというものも1つである。

委員

成果指標②文化活動への参加者数について、機会が何回あるかや頻度であったり質では測れないのか。

江崎課長

町民文化展の出展者など決めた活動の参加数を長年この数値を使っている。

⑪スポーツしやすい環境づくり

委員

メムロスキー場は、町民の健康増進及び体育スポーツの普及振興とのと記載がある。
道具など金銭的負担がある。気軽に触れられる機会を作ってほしい。

中村参事

子どもたちが授業でできるようリフトの利用料無料にしたり、町民割も行う想定。少しでも触れられる機会を作りたい。

委員

部活動の件について、この施策にあるとスポーツしやすいに特化してしまう。
文化活動もあるのだから、社会教育の推進に入れてはどうか。

江崎課長

社会教育の推進に入れることを検討する。

⑫快適な住環境の整備

なし

⑬有効な土地利用の推進

委員

めむろ一どのあり方を検討してほしい。現在修繕費が大きくなっている状況のため、計画に含めてほしい。

大石係長

別施策で行う。意見もその際に願う。

⑭環境保全と再生エネルギー

委員

道道の街路樹や雑草が生い茂っていて、町に入る際の 1 番最初に目につくところなのに、
残念である。特に神社から駅の間がひどい。検討をして欲しい。

齋藤課長

地球温暖化などの観点からもバランスは必要と考えている。

景観もあり、現在も道と協議している状況である。

委員

成果指標について実績などの数値から取れないのか。

例えば緑化率などそういったものを目標にできないのか。

齋藤課長

実際に数値があるものは多数ある。

多数あるが成果として、目標値をどれだけにすれば成果となるかが不透明であるため、この成果指標とした。

委員

実数でやってはどうか。

齋藤課長

公共施設の取り組みで具体的な目標はあるが、町全体の物ではない。町全体の具体的な数値はHPなどで公表しておりその推移で判断してほしい。

委員

水力発電の取り組みを載せてもいいのではないか。

齋藤課長

再生可能エネルギーの一つである。だが、農業の施策で行っているものでもあるので、ここに載せるのは難しいものである。

⑮廃棄物の抑制と適正な処理

委員

町内会がなくなった地域のごみステーションはどうなっているのか。

齋藤課長

現状は地域で行ってもらっている。

委員

今後減っていくことが多いが将来については。

齋藤課長

検討中である。戸別収集方式になると会社数も増やし、財政負担も大きくなる。
そういった現状も含めて考えていつている。

委員

ごみステーションは町内会が行っている認識が無い方が多い。知って納得して協力してもらえる方も多い。町の周知を希望する。

⑩道路交通環境の整備

委員

タクシー夜遅くまでやらない件についてどう考えているのか。

大石係長

実証検証を行った段階である。現在検討段階である。

委員

ライドシェアについてはどうか

大石係長

昼の運行は、現在業者があるので現在の実施は難しい。今後業者の状況もあるので話が変わる。

委員

町内会連合会のアンケートで7割の方に欲しいと言われて、行ったが3件しか実績が無い。今回の実証実験も周知不足あるのではないか。

⑪徹底した情報共有と町民参加の促進

委員

デジタルプラットフォームとは何か。

有澤課長

テーマを1つの場所に置き、自由に意見を入れる。それをAIが整理を行い取りまとめを

行うもの。

委員

町民参加について成果指標にできないのか。

有澤課長

意見として頂戴する。

委員

デジタルが進むほど、高齢者の不信につながることが多い。実際健康アプリなど。デジタルだけに頼らない方法も大事にしてほしい。

有澤課長

意見として頂戴する。

○その他

委員

スケジュールがタイトすぎる。

専門部会の意見を反映されたもので審議する方が良いのではないか。